

平成 2 8 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園
2	指定管理者 名称	環境整備株式会社 代表取締役 齋藤 靖
	住所	栃木県宇都宮市岩曾町1333
3	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成28年度のスイミングドーム利用者は、48,178人で前年度より3,726人減となった。利用者の内訳は、町内が25,538人(53.0%)、町外が22,640人(47.0%)であり町内利用者がやや多い状況である。集客の取り組みとして、夏休みイベント（例年事業）や入場者100万人達成イベントを実施するほか、子どもから大人までを対象とした水泳教室や長期休業中を利用した短期子供水泳教室を引き続き実施し、認知度や利用者の拡大を図っているが、地下水の濁りにより長期休館があったことや西郷村営プールの新設により前年比で大幅な利用者の減となり、目標である5万人集客を達成することができなかった。</p> <p>余笹川ふれあい公園については、グラウンドゴルフや九尾まつりが行われるなど、例年どおりのイベントが開催された。前年度は全日本自転車選手権の開催により大幅に利用者が増えたが、今年度は例年並みの利用者数であった。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	利用者アンケートを通年で実施しており、改善要望等に対応可能な事項については、早急かつ適切に対応している。施設整備や利用関係の改善要望もあるため、町として改善すべきものは検討し、対応したい。なお、余笹川ふれあい公園利用について、土・日曜日は、だれもが自由に公園を利用できるように、団体で行うグラウンドゴルフ等の利用は行わないこととしている。アンケート以外での改善要望も数件あり、社員研修を強化するなどして改善を図っている。
8	指定管理者の経理状況の評価	平成28年度の収支について、収入総額は70,695千円(内委託料45,036千円、売上金25,659千円)に対し、支出総額は68,595千円で、2,100千円の黒字となっている。主な要因としては、燃料使用量減少等により光熱水費が減少し、支出額が減少したことが要因である。今後必要経費は大きな変動がないと考えられるため、入場料収入や自主事業等による収入増への取り組みが必要である。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	指定管理者更新4年目となった。過去3年と同様に町と月次定例会を実施しており、事業報告はもとより問題点や利用者からの要望・改善事項等について話し合いを行い、速やかに対処するよう努めている。施設管理面では、施設の老朽化に伴う修繕等を町との協定に基づき積極的に実施しているが、平成8年開設以来22年が経過し、年々修繕が増加しているため、大規模な改修を今後検討する必要がある。
10	評価ランク	: C
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

平成 2 8 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称 那須町立図書館
2	指定管理者 名称 株式会社図書館流通センター 代表取締役 石井 昭 住所 東京都文京区大塚三丁目1番1号
3	指定期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
4	施設所管課 那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） ・協定書、仕様書等にそって、業務は概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況 ・平成28年度の開館日数は307日（前年比増減なし）、入館者数は58,088人（前年比833人減）貸出人数は17,343人（前年比817人減）であった。1日当たりの平均では、前年度に比べ、入館者数は2.7人減の189.2人、貸出人数は2.7人減の56.5人となった。 入館者数の減少を招いた一因としては、屋上防水改修及び外壁改修工事を実施したことや、図書離れが考えられる。 ・那須町子どもの読書活動推進計画に基づき、読み聞かせ入門講座、実践講座を開催した。 ・新規事業として「しもつけ新聞塾」「御影石アート教室」「読書感想文書き方の教室」を開催した。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 ・指定管理者が実施しているアンケート調査によると、図書館内の図書整理状況、予約サービス、スタッフの対応、館内の清潔さについて、昨年同様概ね満足されている状況である。 ・利用者からの要望の多くは、図書資料、視聴覚資料の充実が求められている。 ・利用者の多くは60歳以上の方が多いことから、階段の利用が大変（エレベーターの設置）であったり、トイレの洋式化（多目的トイレ等）が求められている。 ・利用者の高齢化が進んでいる状況から、大活字本や成人向け紙芝居の購入を行っている。 ・情報通信技術の進展に伴いパソコンに加えてスマートフォンやタブレット端末の電子書籍貸出しサービスを検討していく必要がある。
8	指定管理者の経理状況の評価 ・収入及び支出については、適正に処理されている。 ・図書購入費は、仕様書に明記されているとおり年間500万円が支出されている。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） ・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っている。 ・利用者が年々減少傾向にあることから、戦略的な図書館運営が必要である。一方で施設の改善が必要であり、他の施設との複合化など、今後のサービスや施設の在り方について検討する必要がある。
10	評価ランク : C A : 非常に良好な施設の運営状況であった D : やや課題のある施設の運営状況であった B : 良好な施設の運営状況であった E : 課題のある施設の運営状況であった C : 普通の施設の運営状況であった

平成 2 8 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町野外研修センター
2	指定管理者 名称	NPO法人 那須高原自然学校 理事長 小川 虹生
	住所	栃木県那須郡那須町大字高久甲5720番地
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成28年度の野外研修センターの利用者は、宿泊者が5,300人で対前年比147%、日帰り利用者が1,305人で対前年比124%、場内散策等も含めた延べ利用者（来場者）は7,090人で対前年比139%と増加している。</p> <p>増加の要因としては、日帰りデイキャンプ等イベントの回数増加や地元育成会・子ども会等の積極的な誘致による町内からの来場者の増加等によるものである。</p> <p>運営面では、インターネットの活用や自然に囲まれた施設環境を活用した体験プログラムを積極的に導入し、野外研修センターの知名度も向上している。</p> <p>また、利用者の大幅な増加により、施設清掃・宿直等の業務も当初計画より増加したが、非常勤スタッフ・繁忙期スタッフを配置するなど必要に応じて運営体制を強化している。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>利用者には毎回アンケートを実施し、改善要望等を緊急性と重要性により分類し、スタッフ全員で意思統一を図るなど適切に管理している。</p> <p>ソフト面の改善については、アンケート結果に基づき実施できるものから早急に対応している。ハード面についても、キャビンの階段改修や炊事場の修理をはじめ、管理棟にごみ置き場を移設して増設するなど、要望が多いものを優先的に実施している。</p> <p>一方、バンガローなど施設の老朽化による修繕が必要な施設もあり、町と指定管理者の協議により計画的に修繕等を行う必要がある。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成28年度の収支については、収入総額は17,900千円（内委託料8,747千円 売上金9,153千円）に対し、支出総額は17,864千円で36千円の黒字となっている。しかし、利用者の増加に伴い、非常勤・繁忙期スタッフ等の人件費や施設故障等による修繕費の支出も増加していることから、今後は、利用者の更なる増加への取り組みを行う一方で、料金体系の見直しや人件費等の経費抑制を図るなど効率的な運営方法の検討が望まれる。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>指定管理2年目で、延べ利用者が7,090人で対前年比139%と増加しており、地元育成会等の受け入れも積極的に行うほか、インターネットの利用等により、野外研修センターの知名度も向上している。</p> <p>課題としては、来客の駐車場の新規確保や整備、施設の老朽化への対策、繁忙期の人件費増への対応、使用料の見直しなどを今後検討していく必要がある。</p>
10	評価ランク	: B
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

平成 2 8 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町共同利用模範牧場
2	指定管理者 名称	株式会社 那須の農 代表取締役 岡田建史
	住所	那須町大字漆塚567
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町農林振興課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	基本協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>○延べ預託頭数については、100,946頭（前年度99,533頭）で前年度比1,413頭の増となり、内訳は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季放牧 54,076頭（町内34,932頭(64.6%)、町外19,144頭(35.4%)）（前年度比2,922頭減） ・冬季預託 46,870頭（町内30,920頭(66.0%)、町外15,950頭(34.0%)）（前年度比4,335頭増） <p>なお、全36牧区（約219.1ha）のうち13牧区（約69.1ha）（内訳：平成24年度から12牧区（約61.9ha）、平成25年度に1牧区（約7.2ha）追加）が利用自粛のため、平成24年度から肉用牛の受入を中止し、乳用牛のみの受入としていることから、利用自粛牧区の制限解除に向けて、平成26年度から吸収抑制対策事業を実施した結果、平成27年度までに利用可能牧区は約169haまで回復しました。平成28年度は残る利用自粛牧区9牧区45.2haの吸収抑制対策事業を実施し、全牧区利用可能となりましたが、牧草畑の養生のため、平成30年度以降に肉用牛の受け入れを再開する予定です。</p> <p>○運営体制については次のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理分野では、特に問題なく、円滑に運営が行われました。 ・現場作業分野において、前年は欠員が生じた際の補充が速やかに図られなかったことから、残留者（管理責任者や業務従事者）への負担が増大していましたが、平成28年度においては、適切な人員配置がなされ特に問題なく円滑な運営が行われました。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>預託農家からは牛のコンディションがあがってきたとの意見があり、利用者にとって良い運営ができています。今後さらに満足していただけるよう、技術向上を図る必要があります。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成28年度の収支については、収入総額は68,488千円（消費税抜額）（内訳：委託料18,510千円、使用料46,090千円、その他3,888千円）に対し、支出総額は54,684千円で、13,804千円の収益となっています。なお、消費税納税額は2,917千円でした。前年と同程度の内容となっております。</p> <p>今後は、利用自粛牧区の制限解除後の肉用牛受入再開に伴う預託頭数の確保が望まれます。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>指定管理移行2年目ということもあり、体制が整い平成28年度は比較的良好な運営を行いました。</p> <p>今後は、新規農家を獲得するため、広報活動や、技術の向上が必要であると考えます。</p> <p>施設管理の面では、昭和43年開設以来48年が経過し、施設の老朽化による改修、修繕等の必要性が増加している他、機械の老朽化が著しく、補修に関する年度計画（長寿命化を含む）を策定し、順次対応していく必要があります。また、イノシシによる牧草への被害が毎年3ha発生しており、対策を検討する必要があります。</p>
10	評価ランク	: B
	A：非常に良好な施設の運営状況であった	D：やや課題のある施設の運営状況であった
	B：良好な施設の運営状況であった	E：課題のある施設の運営状況であった
	C：普通の施設の運営状況であった	

平成 2 8 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須温泉ファミリースキー場
2	指定管理者 名称	那須未来株式会社 代表取締役 薄井 正明
	住所	那須町大字高久乙593番地8
3	指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）
4	施設所管課	観光商工課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づく年度運営計画書に基づき適切に履行されていた。
6	利用状況、運営状況	<p>平成28年度のオープン直後は、平成27年度に引き続き2シーズン連続しての雪不足であったが、1月中旬に入ってからまとまった積雪があり、1月10日から一部、同14日からはフルオープンを開始することができた。昨年を上回る実営業日数が確保できたため、昨年より経営状況は改善した。</p> <p>【利用状況】 リフト券等売上高 13,222,090円（昨年度5,311,200円 248.9%） 入場者数 14,800人（前年度7,081人 209%増） リフト輸送人員 107,415人（前年度52,410人 204.9%）</p> <p>【運営状況】 営業期間 平成28年12月23日（金）～平成29年3月20日（金） 88日間 実営業日数 66日（前年度29日） 負傷者 8人（前年度4人）</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>那須温泉ファミリースキー場はスノーボードの全面滑走禁止を行っており、安心してスキーを楽しめるスキー場としてファミリー層の満足度は高い。</p> <p>また、懸案事項であったスキー場近接の駐車場不足に対応するため、大丸駐車場からの無料送迎を開始し、利用者からは好評であった。</p> <p>スキー場恒例のキッズイベントも引き続き実施しており、多くのリピータを集めている。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成28年度の収支は、収入総額は31,700千円（内委託料16,500千円、リフト使用料等15,200千円）に対し、支出総額は27,109千円で、4,591千円の黒字となっている。</p> <p>しかし、当スキー場には人口降雪設備がないため、自然降雪の影響を大きく受けることが、運営を不確定なものにしている。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>指定管理初年度であったが、入念な引継が行われていたため、町直営で運営を行っていたところと比べて、施設の運営面や安全性においてサービスの低下は見られなかった。また、独自に大丸駐車場からの送迎を開始するなど、利用者のサービス向上に努めており、サービス面での指定管理者導入のメリットが認められる。</p> <p>また、営業期間終了後に発生した隣の国有林野内の雪崩事故の対応にあたっては、指定管理者が、救助活動に大きく貢献しており、その対応は特筆するべきものであった。</p>
10	評価ランク	: B
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	